

丹波篠山市入札監視委員会議事録概要書 (令和 3 年度 第 1 回)

開催日	令和 3 年 7 月 21 日 (水)		
開催場所	丹波篠山市役所本庁舎 301 会議室		
出席委員	委員長：東 泰弘、 委員：澤 雅史、澤 大輔		
審議対象期間	令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日		
抽出案件	総件数 6 件	(備考)	
一般競争入札	3 件	市長部局	一般競争入札 1 件 指名競争入札 1 件 随意契約 1 件
指名競争入札	2 件	教育委員会	指名競争入札 1 件
随意契約	1 件	上下水道部	一般競争入札 2 件
委員からの意見・質問	<ol style="list-style-type: none"> 篠山処理区池上枝線管路築造工事について、失格がかなりあるが、最低制限価格の設定に問題はないか。 あさぎり宛施設定期整備について、入札参加資格者が 95 者もあるのに入札参加申込者が 2 者しかなかったのは、なぜか。 あさぎり宛施設定期整備について、市内業者が入札辞退した理由は何か。 村雲橋橋梁補修工事について、設計価格はどのように算出されたのか。 市立今田小学校ポンプ取替工事について、設計書に緊急対応との記述があるが、何が緊急対応であったのか。 丹波篠山の家モデルハウス新築工事について、2 回目入札の指名基準は問題ないか。 土木工事の入札参加者が多いのに対して、建築工事の入札参加者が少ない理由は何か。 建築工事の入札において取止めになる事例が多く見られるが、市内業者を指名すると入札が厳しい状況になる理由は何か。 		

<p>委員からの意見・質問に対する回答</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最低制限価格付近を狙ったため、当該価格を下回り失格となった。参加業者の見積金額と市の設計額の差が少なく、実勢価格と乖離しておらず、最低制限価格の設定に問題ないと考える。 2. 機械器具設置工事は、機械全般を取扱う業者が登録されるので、資格者数は多いが、し尿処理用機械を取扱う業者が限られるため、入札参加者が少なかったと考える。 3. 当該案件の資格を確認し、資格がないことに気づいて辞退されたと考える。 4. 橋梁の事前点検調査による修繕箇所から、コンサルが報告した現地調査等の内容をもとに、市が設計価格を算出した。 5. 飲料水である水道水の塩素濃度が低かったため、安全面において早期に復旧する必要があったため、緊急対応とした。 6. 1 回目は規定の指名基準で執行したが決まらなかったため、2 回目で業者や設計内容を見直し、市内業者全者を指名したことは問題ないと考える。 7. 建築工事は、土木工事と違い決まった単価がないこと、多くの下請業者との調整が難しいこと、建築を専門とする市内業者が少ないことも、参加者が少ないと考える。 8. 市の方針として市内業者優先発注を第一義としているが、特に建築工事は市内業者数が少ないので、工事範囲が広がるとそれに対応し、設計に合った金額で応札できる市内業者は限られるため、入札の成立が厳しくなると考える。
<p>委員会による意見具申又は勧告の内容</p>	<p>抽出案件については、すべて適切に執行されている。</p>